

○上越教育大学大学院学校教育研究科専門職学位課程における 修了認定・学位授与、教育課程編成・実施及び入学者受入れ の方針

(平成30年2月14日制定)

第1章 総則

1 教育の理念・目的

上越教育大学（以下「本学」という。）は、本学大学憲章に基づき、子供の未来を切り開くことのできる確かな実践力を備え、我が国の教育を担う中核的・指導的な教員の養成を目指している。

教員という職業は、豊かな人間性に支えられた専門職である。その専門性には、子供たちの学習と生活を支援でき、そして人類の築き上げた文化を全体として理解・把握する、つまり様々な学問分野の考え方を整理・統合し、人間の文化的営みを理解できる総合的な資質・能力が求められている。

そのため、本学では、「21世紀を生き抜くための能力（基礎力・思考力・実践力）」を身につけ、「人間力（優れた人格・豊かな感性・未来創造力）」を備え、さらに「教育実践力（豊かな教養・高度な専門的知識・優れた教育技術・使命感・創造力・人間愛）」及び「学び続ける力」を有する教員を養成する。

2 大学院学校教育研究科専門職学位課程の目標

教職に関わる精深な学識を授けるとともに、理論と実践の架橋・往還・融合を通して、教育現場に生起する問題や事象について即時的に判断し、対応する力量を備えた高度専門職業人としての教員を養成する。

第2章 修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

3 修了認定・学位授与の方針の定義

教育の理念・目的及び大学院学校教育研究科専門職学位課程の目標に基づき、どのような力を身に付けた者に修了を認定し、教職修士（専門職）の学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標となるものである。

4 修了認定・学位授与の方針

大学院学校教育研究科専門職学位課程で所定の単位を修得し、学修成果の総合的な審査に合格することにより、以下に示す能力と条件を満たした者に対して、修了を認定し、教職修士（専門職）の学位を授与する。

ア 教育の理念・方法及び人間の成長や発達について、臨床的又は実践的な視点から理解している。【基礎力】

イ 学校現場における様々な課題について、臨床的な理論や方法を用いて分析し、チームでの解決策を提案できる。【思考力】

ウ 一人一人の子供の学習と生活を支援できる、高度で即応的な実践的指導力を有している。【実践力】

エ 教職に求められる即応的な専門的スキルばかりでなく、広い視野に立つ深い学識を修得し、人間として求められる豊かな教養を身に付けている。【教育実践力】

オ 教育に対する熱意を持ち、教育者としての使命を深く自覚している。【教育実践

力】

カ 初等中等教育の場において教育実践研究を創造的に推し進めることができる。【教育実践力】

キ 学校教育に対する社会のニーズを意識して教育実践を省察し、自らの専門性と実践力を高めていくことができる。【学び続ける力】

ク 善いものや美しいものに憧れる感性を備え、よりよい未来の実現に向けて行動し、多様な人々と協働することができる。【人間力】

第3章 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

5 教育課程編成・実施の方針の定義

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するかを定める基本的な方針である。

6 教育課程編成・実施の方針

(1) 大学院学校教育研究科専門職学位課程の目標達成に資するよう、カリキュラムは以下の科目で編成・実施する。

ア 教職に求められる高度に専門的な力量の基礎となる学識と教養及び技能を体系的に身に付ける科目（臨床共通科目）【基礎力・教育実践力】

イ 深い学識と教養をもとにして学校現場における実践を意味づけ、的確に判断する力量を身に付ける科目（コース別選択科目）【思考力・教育実践力】

ウ 教育現場の状況を的確に把握し、他の人々と協働しながら適切に対応する力量を、学校現場における実践を通して身に付ける科目（実習科目）【実践力・教育実践力】

(2) 上記(1)のアからウまでを総合的に学修する中で、教育実践研究を創造的に学ぼうとする態度及び豊かな人間性を育成する。【学び続ける力・人間力】

(3) 学修成果の評価については、各科目の評価基準をシラバスにおいて明示するものとする。

7 教育課程の保証

学生の入学時の教育課程は、原則として当該学生が修了するまでは保証するものとする。

8 教育課程編成の体制

教育課程の編成については、カリキュラム企画運営会議が定める教育課程の編成基準等に基づき、全教員が協力体制の下で行うものとする。

第4章 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

9 入学者受入れの方針の定義

教育の理念・目的、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのように入学者を受け入れるかを定める基本的な方針であり、受け入れる学生に求める学修成果を示すものである。

10 入学者受入れの方針

専門職学位課程では、以下に掲げる学生を求めており、そのために、筆記試験及び口述試験により入学者の選抜を行う。

ア 教職に求められる専門的な力量の基礎となる学士課程卒業相当の学識及び技能を身につけている。【基礎力】

イ 教育をめぐる現代的諸課題について、専門的・実践的な知見をもとに、その対応方策を体系的・総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる。【思考力】

ウ 学校現場に対する社会のニーズを踏まえ、生活や社会、環境の中に問題を見出し、教育者として解決に向けて主体的に取り組もうとする意欲を有している。【実践力】

エ 教育に対する熱意を持ち、自己の学修課題を明確に意識し、積極的に学修を進めていくことができる。【学び続ける力】

オ 自己の人格及び感性を高め、多様な人々と関わりながら社会に貢献しようとする態度を備えている。【人間力】

附 記

- 1 この方針は、平成31年4月1日から実施する。
- 2 この方針は、平成31年度入学者から適用する。ただし、入学者受入れの方針は、平成31年度学生募集から適用する。
- 3 平成30年度までの入学者については、従前の方針を適用する。